

- とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進 -

とやまの森づくり総合情報システム事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

平成19年度事業の実績

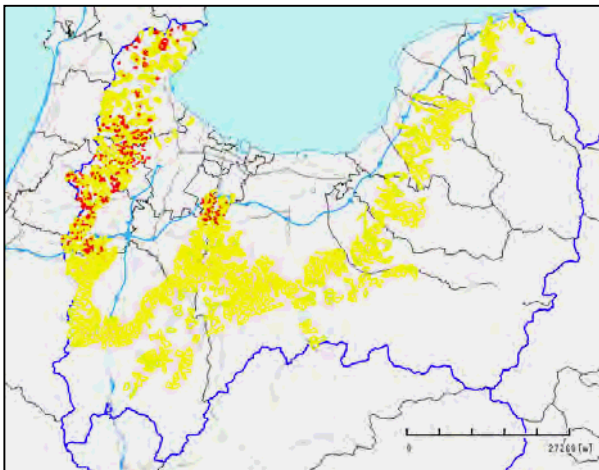
(1) 森林GISシステムの整備

人工林、天然林、樹種などの分析データ、里山再生整備事業やみどりの森再生事業の実施区域、ツキノワグマの出没地点などを、地形図や航空写真上に表示するため「森林GISシステム」を整備しました。

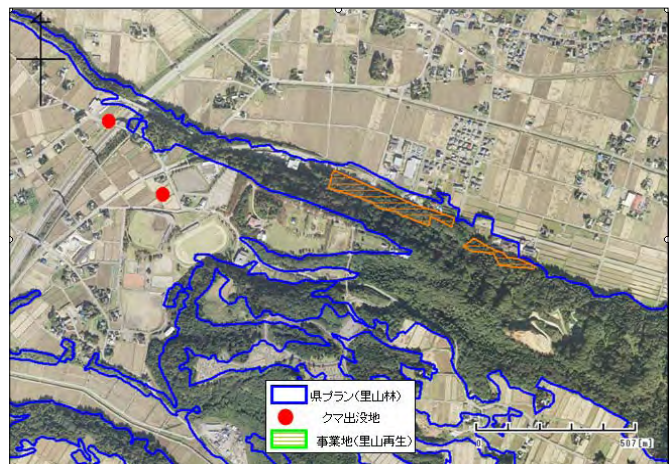
(2) とやまの森づくりホームページの公開

森林GISシステムを用いて作成したとやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業を紹介する「とやまの森づくりホームページ」を作成し公開しました。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>



森林GISを用いることで、混交林の整備対象地(黄色)と風雪被害林の位置(赤色)を富山県図に表示できます。



里山林の整備対象地とツキノワグマの出没地点、平成19年度森林整備区域のデータを航空写真上に重ねて表示もできます。



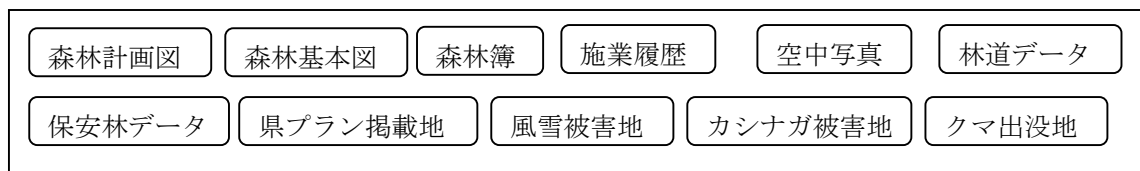
とやまの森づくりホームページにより、水と緑の森づくり事業実施状況などについての情報発信を行ないました。

平成 19 年度とやまの森づくり総合情報システム事業について

1 事業実績

(1) 森林 GIS の整備

① 整備データ



② 活用内容

i とやまの森の情報図作成

各種情報を有機的に処理し、県内の森林の現況等を分かりやすく示した、情報図を作成。

ii 森づくり事業の情報図作成

水と緑の森づくり事業の結果及びその効果を、わかりやすく情報提供するための情報図を作成。

(2) 「とやまの森づくりホームページ」の整備と公開

水と緑の森づくり事業に関する情報を紹介する、「とやまの森づくりホームページ」の整備し、公開。

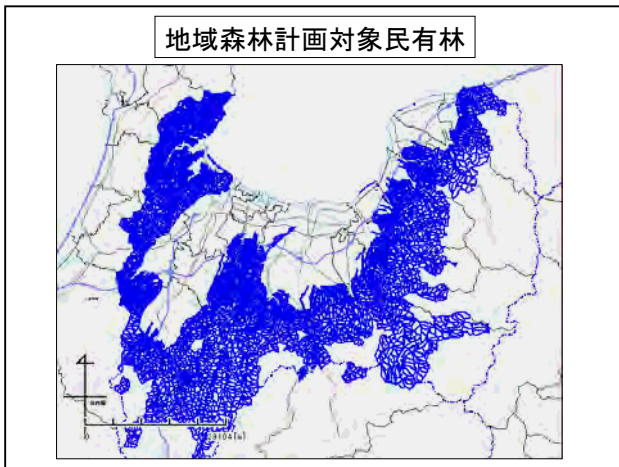
2 事業の効果

森林 GIS を整備し、森づくり事業地を地形図や空中写真上等に表示することが可能となり、森づくり事業の評価・改善に向けた基礎資料作成に活用することが出来るようになった。

また、水と緑の森づくり事業専用のホームページを整備し、公開することで、広く県民が情報を取得できる体制を整備した。

1 とやまの森の情報図作成

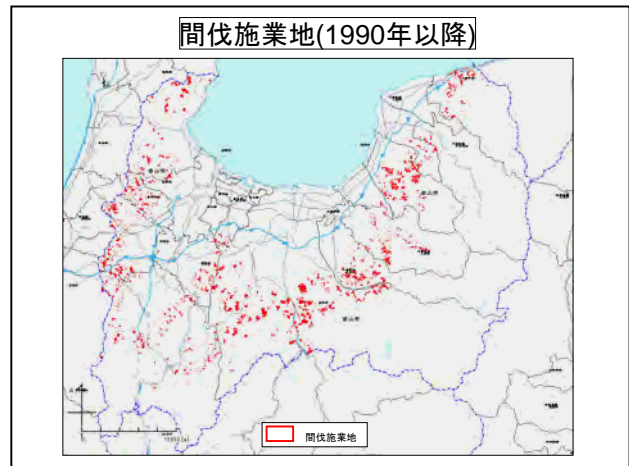
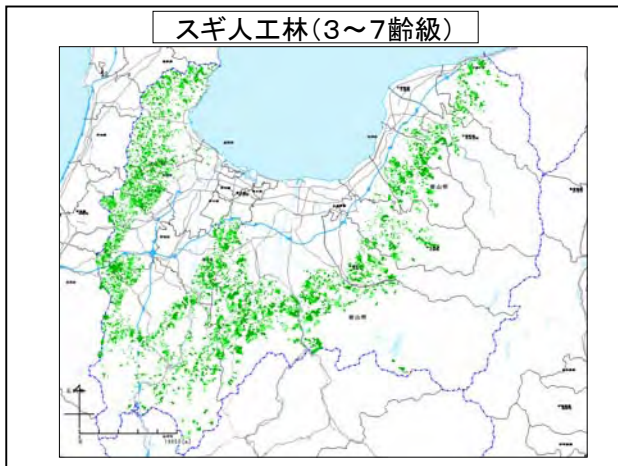
①地域森林計画対象民有林



※森づくり事業の対象としている民有林の分布

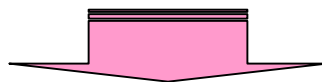
〔 使用データ：全県図、森林計画図 〕

②スギ人工林の整備状況



※間伐の必要な森林が広く分布しているにもかかわらず適正な手入れがされていない。

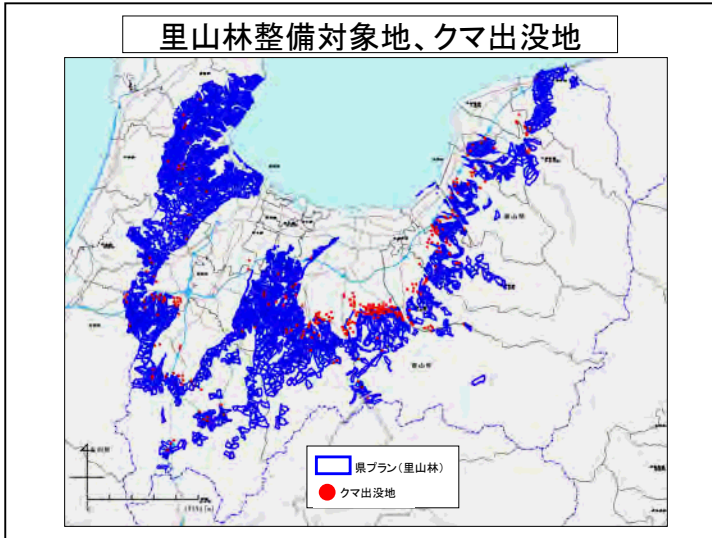
〔 使用データ：全県図、森林計画図、森林簿、施業履歴データ 〕



- ・ 県内森林の現況等を分かりやすく、県民に情報提供を行い、森づくりへの理解の醸成を行う。
- ・ 効果的な森づくりを検討する。

2 森づくり事業の情報図作成

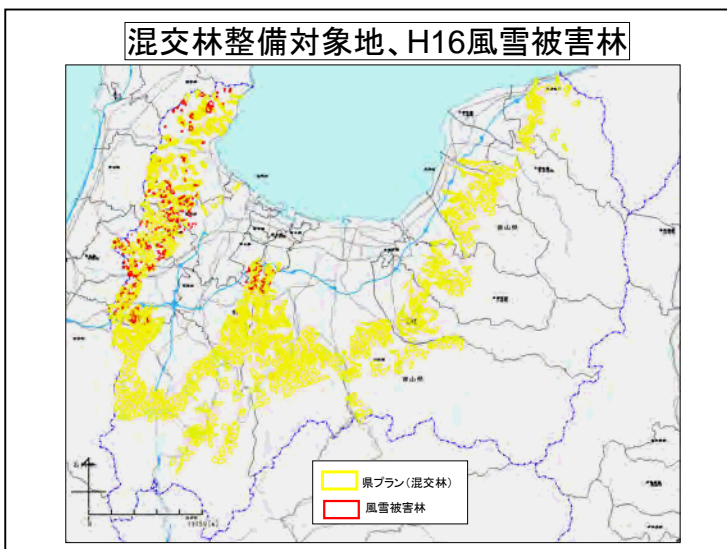
①里山林整備対象地とクマ出没地の分布



※野生動物との棲み分け等に向け、県森づくりプランで検討している、里山林整備対象地。

〔使用データ：全県図、県プランデータ、クマ出没地データ〕

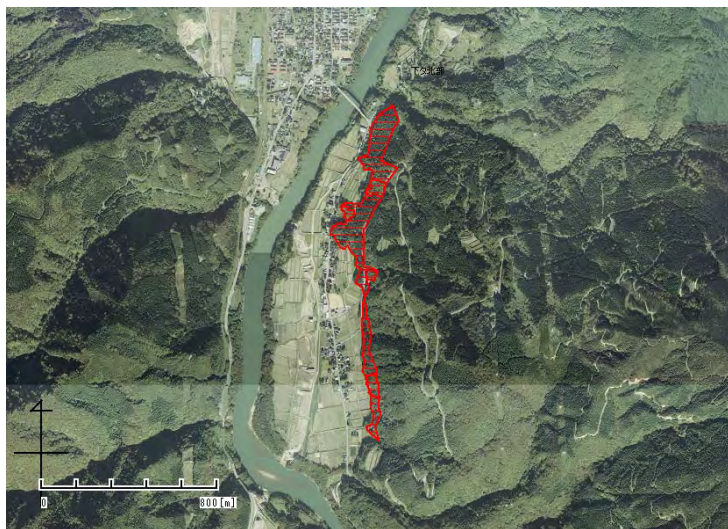
②混交林整備対象地と風雪被害林の分布



※風雪被害林等をスギと広葉樹の混交林へ向け、県森づくりプランで検討している、混交林整備対象地。

〔使用データ：全県図、県プランデータ、風雪被害林データ〕

③森づくり事業地情報図作成



※里山再生整備事業地

地区名：下夕北部

整備目的：野生生物との棲み分け、
森林環境・地域景観保全

当地区では、クマの出没があるため、集落と裏山の境の森林を整備し、遠くからでも野生動物を確認できるように整備。

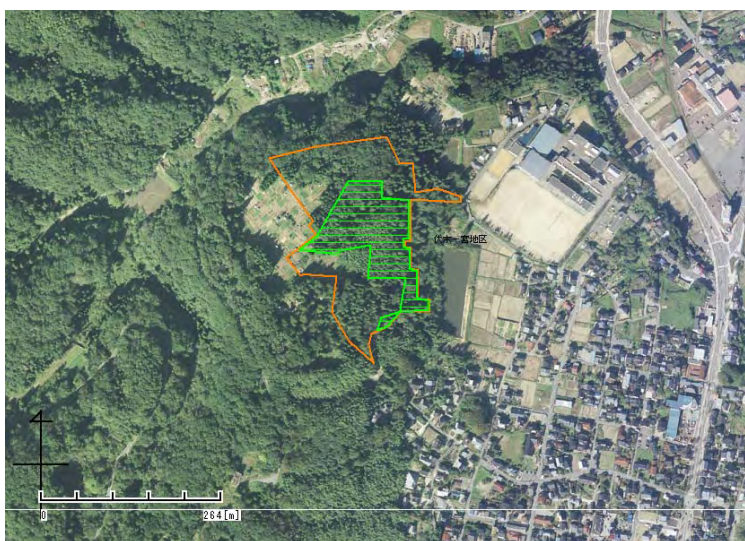


※里山再生整備事業地

地区名：野島

整備目的：野生生物との棲み分け

広葉樹および竹林の抜き切りを実施し、林内を明るくすることにより、サルおよびクマ等の野生動物との棲み分けを図ると共に、景観の改善を図る。

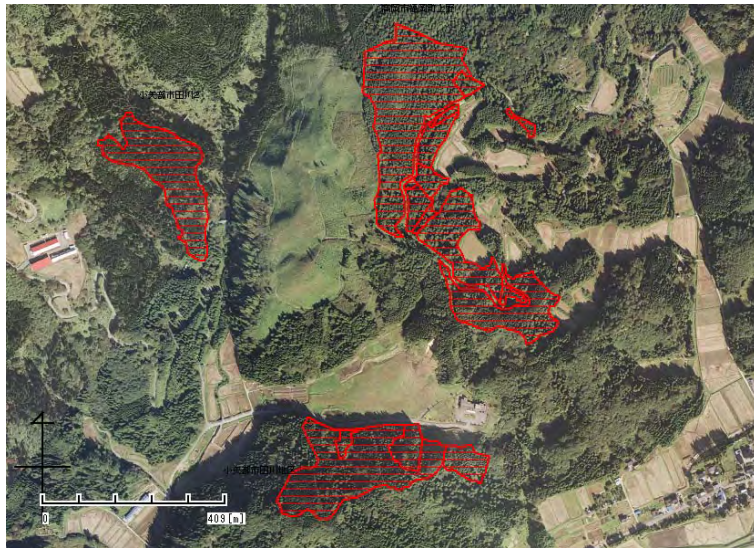


※里山再生整備事業地

地区名：伏木一宮

整備目的：森林環境・地域景観
保全

広葉樹整備地は、地域住民が、林縁部の定期的な刈り払いを行う。
竹林整備地は、地域住民が再発生した筍の除去や植栽木周辺の下刈を行う。

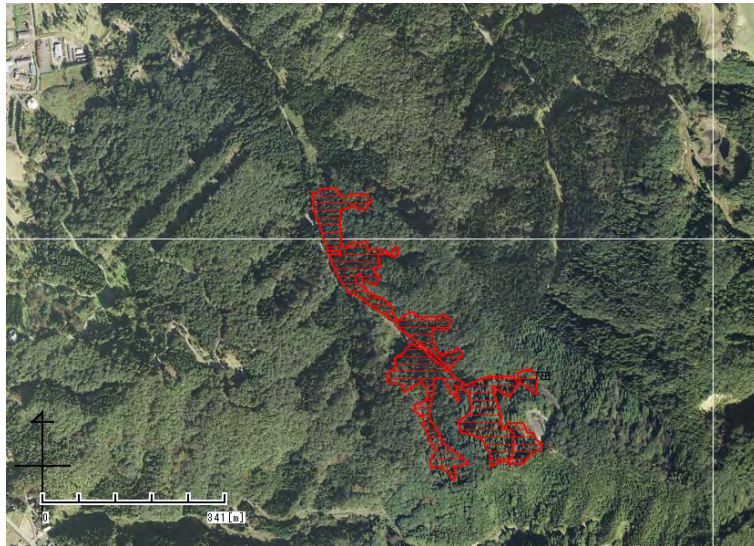


※みどりの森再生事業地

地区名：上野、田川

整備目的：風雪被害林の整備

風雪被害林を整備し、スギと広葉樹の混交林へと誘導。

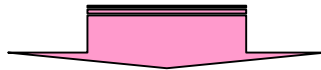


※みどりの森再生事業地

地区名：下田

整備目的：過密人工林の整備

過密人工林で伐採を行い、林内を広葉樹等が侵入できる明るい環境に整備。



- 森づくり事業の評価、改善の基礎資料とする。
- 森づくり事業の結果を公表するために活用。

3 「とやまの森づくりホームページ」の整備と公開

①整備したホームページ

整備したホームページ(トップページ)



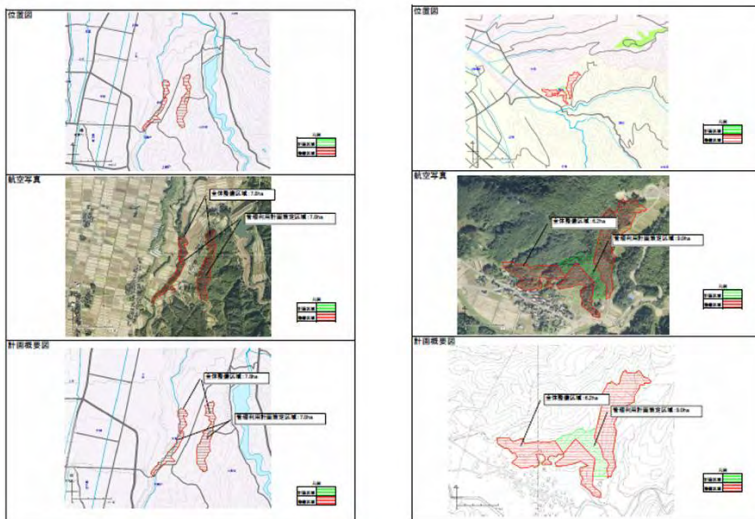
※ホームページを活用して、水と緑の森づくり事業に関する情報を公開。

平成20年3月27日公開
とやまの森づくりホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/>

②公表されるデータ

ホームページで公表するデータ



※森づくり事業地の測量データを取りまとめ、空中写真等を活用し分かり易く情報を提供。

使用データ：全県図、基本図、森づくり事業地データ

森づくり活動の結果や効果を分かり易く公表し、幅広い県民からの意見を今後の森づくりの参考とする。